

学校運営協議会議事録

校名	府立淀商業高等学校
校長名	高井 一男

開催日時	令和6年12月14日(土) 13:30 ~ 14:30
開催場所	会議室
出席者(委員)	委員 5名参加
出席者(学校)	高井 一男 校長、香西 朝夫 事務長、坂脇 康文 教頭
傍聴者	なし
協議資料	次第、学校運営協議会実施要項、 令和6年度学校経営計画及び学校評価、スクールポリシー
備考	

議題等(次第順)

- (1) 淀翔モールについて
- (2) 学校経営計画及び学校評価について
- (3) 現状報告
- (4) その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

・今年度の淀翔モールは、店舗数も多く、充実した内容のイベントであった。生徒に商品に対する質問をしたところ、しっかりとした対応で説明していた。

・これほどの規模のイベントが、10年程度の期間で実施できたのは素晴らしいことであり、淀商の強みであると感じている。生徒にとって、淀商業高校に在籍していることに、胸を張り、誇りを持ってよいと思う。

・単に学校のイベントとしてではなく、警察、消防、自衛隊など、多くの公的機関や企業などが協力することにより、地域のイベントとして立派なものとなった。

・さらには、協力していただいている団体や企業が言いにくいことに対して、事前に察知し、配慮を行うことが大切である。淀翔モールに参加してよかったと感じていただければ、次回の参加にも繋がり、さらなる広がりがある。

・淀翔モールは、学習の場であるため、振り返りを行うとともに、決算報告や地域への影響などの報告など、さらに、生きた学習の場としてほしい。

・非常に寒い日であったため、寒さを逃れるためのフリースペース(今回の会議室のような場所)を事前に周知してほしかった。そうすれば、さらに長い時間、お客様が淀翔モールに留まっていられる時間が増えたんじゃないかと思う。

・授乳室や福祉ボランティア科と協力しながらキッズスペースなどを設置することで、子育て世代も来場しやすくなり、お客様の層も拡大ができる。

・もう少し暖かい時期に行うことも考えてみてはどうかと思う。

・レンジの横に皿がない、カップスープの販売場所からポットまでに距離があるなど、お客様目線で動線を考えることが重要である。より多くのお客様に来店していただくためには、大切な要素である。

・パンフレットでは、どこで何を販売しているのかわかりにくかったが、校舎に設置されたモニターを見るととても分かりやすかった。

・保護者や地域の方に食堂を利用していただくことは、普段生徒がどのような食事をしているのかを知ってもらう機会である。

・この時期は、クリスマスシーズンであるため、季節感を高めるためにも、クリスマスの装飾をするのも、良いのではないかと思う。

・校門横の柵に掲示された広告などは、道路を通る方にとってとてもよい宣伝効果がある。・これからは、紙媒体だけでなく、ツイッターなどのSNSなどネットワークの活用をより進めるべきである。それを楽しみにしている若者も多いと感じている。

・このような地域向けのイベントを実施し、淀商を知っていただくことで、外部からのクレームも少なくなった。さらには、地域から愛される、応援していただけるような学校づくりをお願いしたい。

次回の会議日程

日時	未定
会場	未定